

1年道德通信

第6号

第6回『ひまわり』

第6回の道德では、東日本大震災で家族を失った清和さんが、「はるかのひまわり」を育てる中で、家族を失った悲しみから立ち上がり、語り部として生命の尊さを伝える話から、命の尊さについて考えました。“命は大事”ということは誰もが知っていることです。では、なぜ命は大事なのでしょうか？みんなが考えたことを、一部ですが紹介します。

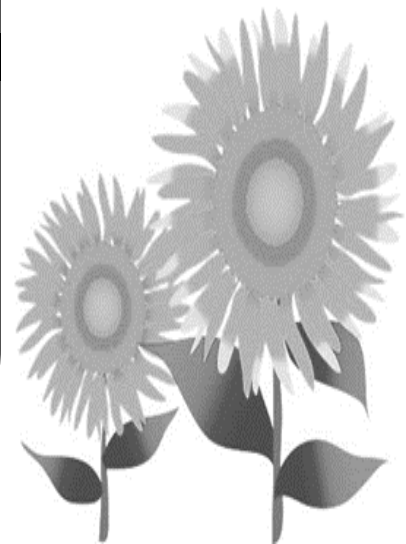
みんなの意見

人は、どうして「いのちの尊さ」を感じるのでしょうか。

- ・人生は一度に一回しかないから。
- ・ひとつしかないから。
- ・生きているから「命の尊さ」を感じると思う。
- ・命がないと、今ここに自分がいないから。親がくれた世界一大切なものだから。
- ・大切な人がいるから。
- ・失ってしまったら、二度と元に戻らないから。

今日の授業で学んだことや考えたこと

- ・大切な人の命も、自分の命も大切にしていきたいと思いました。
- ・最近、事件や事故がたくさん起きているので、命を無駄にしないしてほしいと思った。もらった命を大切にしたい。
- ・今、普通に生きて、親や友達がいることに感謝しないといけないと思った。
- ・自分の命は、自分で守らないといけないし、大切にしないといけない。
- ・命が大切だと改めて思った。一秒一秒大切にしたいし、いろんな人ともっとしゃべりたい。
- ・いつかはさよならしないといけないし、命の大切さを学んだ。



わたし達の命は先祖から受け継いできたもの。
いつか限りがあるもの。どこにも代わりはないもの。
だから、大切なのではないのでしょうか。